

四十歳の誕生日:

折返し地点での内省

二十年前、アイオワ州のトゥモロコシ畑の中で、
胡座をかいて、目を閉じ、
そして各々の鼻孔を通して穏やかに息を吐き、
私の心がゴールデン・コーン・マッシュになるまで、
瞑想しました。

知性すっかり麻痺たとき、
私は魅力的なナンセンスで聴衆を魅了する
カリスマの言葉を聞いた…

「純粋な意識というものは花樹液のようなものだ…
そして、命のすべての色はそれから来る。」

あれから20年、入江からは遠い木立の側で、
私は静かな平和の瞬間を経験するために、相変わらず目を閉じ、
そして、時に、愚かにもこのような考えるにいたりました。

「純粋な意識はナンセンスではない。
私たちが人生で経験することにはなんの意義もない。
しかし純粋な意識を持って生きるならば、それは意義深い。」

ミン: 瞑想は時間の無駄ではないですか?

悟: いえ、それは時間外に出るチャンスです。

玲亜: それは幻想です。我々は常にイベントの流れに結び付けられています。せいぜい、我々は時間の我々の知覚を遅らせることができます。しかし、時間は、私達がそれを認めているかどうか流れる。

悟: それは標準の考え方です。もう一つの考え方を言います。私たちは時間を「製造」します。時間は、ただ、私達に起こる何かであるわけではない。それは、私達が作成する何かです。あなたの意識を変えれば、時間の性質が変わるでしょう。

ティン: (くすくす笑う) 君たちは非常に多くの時間を憶測に浪費する。

- T Newfields (和訳: Lang-8 のテレサさん)

開始: 1995年 静岡市・★ 完成: 2018年 横浜市

